

相互評価後の様子



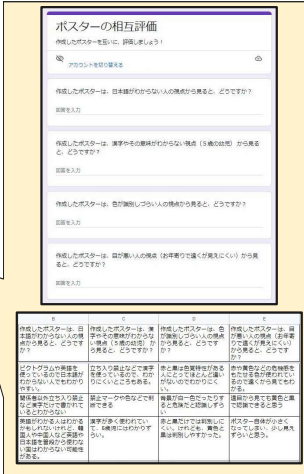
21

作品評価について、相互評価

相互評価前

改善点

相互評価後



22

1つの課題で、まとめて表示する

① [授業] ポスターの共有と相互評価

1. Googleサイトにダウンロードした、ポスター画像を挿入
2. 「Webサイト」を見ながら、「評価の入力」を実施
3. 「相互評価」を見ながら、作成したポスターを修正

| Webサイト |
<https://sites.google.com/hokkaido-c.ed.jp/2022->

| 相互評価入力 |
<https://forms.gle/eJa>

| 相互評価の共有 |
<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1t0qqv0qk8nSTgPrE>



課題が増えないように、
 1つにまとめ、リンクから
 目的の課題を開けるよ
 うにする。

23

気づきのベクトル

著作権のため印刷表示なし

多摩美術大学 デザインシティ講義プログラム 「デザインの速度とは？」廣村正彰 より

24

情報デザインを活用した問題解決2

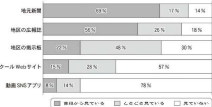
問題例 (共通テスト2022 情報関係基礎 追試験)

某市某地区にあるダンススクールでは、再来月にダンス発表会を開催することになり、ダンススクールの周辺住民に広く告知したいと考えた。発表会の広報戦略を立てるため、スクールの広報活動で利用できるメディアの特徴を検討して、次の表1にまとめた。さらに、周辺住民に普段から利用しているメディアについてアンケートを取り、その結果から表2の結果を得た。

表1 各メディアの特徴

メディア	対象範囲	更新頻度	告知費用	情報発信形式
地元新聞	市内	毎日	無料	文章・画像
地区の広報誌	地区内	毎月第2水曜日	無料	文章・画像
地区の広報誌	地区内	毎月第2水曜日	無料	文章・画像
地区の掲示版	地区内	随時	無料	文章・画像
スクールのWebサイト	全世界	随時	無料	文章・画像・動画
動画SNSアプリ	全世界	随時	無料	動画

※掲載項目までに掲載する必要はない。



- 問1 表1と図1から読み取れるスクールWebサイトの特徴として正しいものを、選びなさい。
- ① 地元新聞よりも対象範囲が広い。かつ「随時更新できる」。
 - ② 地元新聞よりも安価で告知できる。かつ「地区の広報誌より周辺住民のメディア利用率が高い」。
 - ③ HTML形式のファイルで掲載できる。かつ「地区の広報誌より周辺住民のメディア利用率が高い」。
 - ④ JPEG形式のファイルで掲載できる。かつ「動画SNSアプリより周辺住民のメディア利用率が高い」。
- 問2 発表会を告知するにあたり、費用をかけたくないが、告知したい周辺住民に広く告知できるメディアを選ぼう。表1と図1を参考に、最も適したメディアを、選びなさい。
- 問3 発表会の開催日が近日月末になって、告知したい内容の訂正が必要となった。費用がかかっても複数メディアを利用して一週間以内には周辺住民に訂正情報を伝えたい。どのメディアを利用するか、選びなさい。
- 問4 地区の広報誌、地区の掲示版、スクールのWebサイト、動画SNSアプリ
- 問5 地元新聞、地区の広報誌、地区の掲示版、スクールのWebサイト
- 問6 地元新聞、地区の広報誌、スクールのWebサイト、動画SNSアプリ
- 問7 地元新聞、地区の掲示版、スクールのWebサイト、動画SNSアプリ

情報デザイン活用した問題解決(情報の発信とメディアの性質)

某市某地区にあるダンススクールでは、再来月にダンス発表会を開催することになり、ダンススクールの周辺住民に広く告知したいと考えた。発表会の**広報戦略を立てる**ため、スクールの**広報活動で利用できるメディア**の特徴を調査した。さらに、周辺住民に普段から利用しているメディアについてアンケートを取った。費用をかけずに多くの周辺住民に対して告知できるメディアを選択するために、調査結果やアンケートをまとめよう。

- 「各メディアの調査結果」
1. 地元新聞は、県内に毎日、文章や画像で発信することができる。ただし、告知は高額であり、掲載には2日前までに依頼する必要がある。
 2. 地区の広報誌は、地区内に、毎月第2水曜日までに、文章や画像で発信することができる。費用は、無料であり、掲載には2日前までに依頼する必要がある。
 3. 地区の掲示版は、地区の敷地内に、文章や画像で発信することができる。費用は、無料であり、随時更新されるが、掲載には2日前までに依頼する必要がある。
 4. スクールのWebサイトは、随時更新され、全世界に発信される。告知には、定額の料金が発生するが、文章や画像、動画を発信することができる。
 5. 動画SNSアプリは、随時更新され、全世界に発信される。無料で、動画を発信することができる。



可視化

メディア	対象範囲	更新頻度	告知費用	情報発信形式	備考
地元新聞					
地区の広報誌					
地区の掲示版					
スクールのWebサイト					
動画SNSアプリ					

可視化を問題解決につなげる。

利用しているメディアのアンケート

フォームの説明

ラジオボタン

○ 普段から見ると

○ ときどき見ると

○ 見ていない

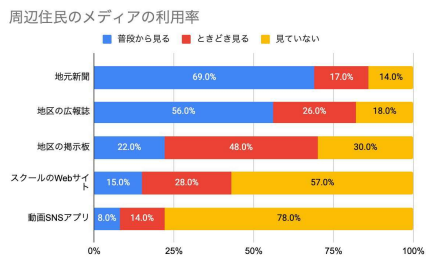
※選択済みを追加または「その数」を追加

No	性別	年齢	地区	メディア	普段から見ると	ときどき見ると	見ていない
1	タイムス	10代	市内	地元新聞			
2	20代前半	20代前半	地区内	地区の広報誌			
3	20代前半	20代前半	地区内	地区の掲示版			
4	20代前半	20代前半	地区内	スクールのWebサイト			
5	20代前半	20代前半	地区内	動画SNSアプリ			
6	20代前半	20代前半	地区内	地元新聞			
7	20代前半	20代前半	地区内	地区の広報誌			
8	20代前半	20代前半	地区内	地区の掲示版			
9	20代前半	20代前半	地区内	スクールのWebサイト			
10	20代前半	20代前半	地区内	動画SNSアプリ			
11	20代前半	20代前半	地区内	地元新聞			
12	20代前半	20代前半	地区内	地区の広報誌			
13	20代前半	20代前半	地区内	地区の掲示版			
14	20代前半	20代前半	地区内	スクールのWebサイト			
15	20代前半	20代前半	地区内	動画SNSアプリ			
16	20代前半	20代前半	地区内	地元新聞			
17	20代前半	20代前半	地区内	地区の広報誌			
18	20代前半	20代前半	地区内	地区の掲示版			

データ集計可視化

「周辺住民のメディアの利用率 アンケート結果」

メディア	普段から見ると	ときどき見ると	見ていない
地元新聞	138	34	28
地区の広報誌	112	52	36
地区の掲示版	44	96	60
スクールのWebサイト	30	56	114
動画SNSアプリ	16	28	156



思考ツール(マトリックス図)を活用して各メディアをポジショニング

費用

告知効果

費用をかけずに多くの周辺住民に対して告知できるメディアとは

フォームを活用して、知識理解の把握

次の問について、答えなさい。

某市某地区にあるダンススクールでは、再来月にダンス発表会を開催することになり、ダンススクールの施設長に広く告知したいと考えた。発表会の広報戦略を立てるため、スクールの広報活動で利用できるメディアの特徴を整理して、次の表1によるもの。さらに、施設長に情報から利用しているメディアについてアンケートを取り、その結果から表2の図1を作成した。

表1 各メディアの特徴

メディア	対象範囲	更新頻度	告知費用	情報伝達形式
地元新聞 ^①	県内	毎日	高	文字・画像
地区の広報誌 ^②	地区内	毎月第2水曜日	無料	文字・画像
地区の放送局 ^③	地区・市町村	随時	無料	文字・画像
スクールWebサイト	全世界	随時	無料	文字・画像・動画
動画SNSアプリ	全世界	随時	無料	動画

※掲載2日前までに投稿する必要がある。

図1 周辺住民のメディア利用率

メディア	利用率
地元新聞	70%
地区の広報誌	75%
地区の放送局	85%
スクールWebサイト	95%
動画SNSアプリ	70%

問1. 表と図から読み取れる**スクールWebサイトの特徴**として正しいものを、2ポイントのを、選びなさい。

① 「地元新聞よりも対象範囲が広い」かつ「随時更新できる」
 ② 「地区新聞より更新で可能である」かつ「地区の広報誌より周辺住民のメディア利用率が高い」

次の問について答えなさい。

問1. 場所や利用する人の特性についての情報などを、言葉を問わず10ポイントばやく伝えるための抽象化した記号。

(ア) ユーザビリティ
 (イ) アクセシビリティ
 (ウ) バリアフリー
 (エ) アフォーダンス
 (オ) ビクトグラム
 (カ) 情報デザイン
 (キ) ユニバーサルデザイン
 (ク) シグニファイア

問2. 性別や年齢、身体障害の有無などによらず、だれでも簡単に使え、ポイントになるような道具や装置、サービスなどのデザイン。

(ア) ユーザビリティ
 (イ) アクセシビリティ
 (ウ) バリアフリー
 (エ) アフォーダンス
 (オ) ビクトグラム
 (カ) 情報デザイン
 (キ) ユニバーサルデザイン
 (ク) シグニファイア

29

情報デザインの 評価例と評価の総括例

[学習評価の在り方ハンドブック\(高等学校編\)](#)

30

評価について(国立教育研究所資料より)

評定への総括は、学期末や学年末などに行われることが多い。学年末に評定へ総括する場合には、**学期末に総括した評定の結果を基にする場合と、学年末に観点ごとに総括した結果を基にする場合**が考えられる。観点別学習状況の評価の評定への総括は、各観点の評価結果をA, B, Cの組合せ、又は、A, B, Cを数値で表したものに基いて総括し、その結果を5段階で表す。

A, B, Cの組合せから評定に総括する場合、「BBB」であれば3を基本としつつ、「AAA」であれば5又は4、「CCC」であれば2又は1とするのが適当であると考えられる。

それ以外の場合は、**各観点のA, B, Cの数の組合せから適切に評定することができるようあらかじめ各学校において決めておく必要がある。**

31

観点別学習状況の評価に係る記録の総括(国立教育研究所資料より)

適切な評価の計画の下に得た、生徒の観点別学習状況の評価に係る記録の総括の時期としては、**単元(題材)末、学期末、学年末等**の節目が考えられる。総括を行う際、観点別学習状況の評価に係る記録が、**観点ごとに複数ある場合は、例えば、次のような総括の方法が考えられる。**

・評価結果のA, B, Cの数を基に総括する場合

何回か行った評価結果のA, B, Cの数が多いものが、その観点の学習の実施状況を最もよく表現しているとする考え方に立つ総括の方法である。例えば、3回評価を行った結果が「ABB」ならばBと総括することが考えられる。なお、「AABB」の総括結果をAとするかBとするかなど、同数の場合や三つの記号が混在する場合の総括の仕方をあらかじめ各学校において決めておく必要がある。

32

観点別学習状況の評価に係る記録の総括(国立教育研究所資料より)

・評価結果のA, B, Cの数を基に総括する場合

何回か行った評価結果のA, B, Cの数が多いものが、その観点の学習の実施状況を最もよく表現しているとする考え方に立つ総括の方法である。例えば、3回評価を行った結果が「ABB」ならばBと総括することが考えられる。なお、「AABB」の総括結果をAとするかBとするかなど、同数の場合や三つの記号が混在する場合の総括の仕方をあらかじめ各学校において決めておく必要がある。

・評価結果のA, B, Cを数値に置き換えて総括する場合

何回か行った評価結果A, B, Cを、例えばA=3, B=2, C=1のように数値によって表し、合計したり平均したりする総括の方法である。例えば、総括の結果をBとする範囲を $[1.5 \leq \text{平均値} \leq 2.5]$ とすると、「ABB」の平均値は、約2.3 $[(3 + 2 + 2) \div 3]$ で総括の結果はBとなる。なお、評価の各節目のうち特定の時点で重きを置いて評価を行うこともできるが、その際平均値による方法等以外についても様々な総括の方法が考えられる。

情報デザインの評価(例1)

知識技能	思考判断表現	主体的に学ぶ姿勢
ワークシート	8	ワークシート 13 振り返りシート 8
デザイン技能	10	確認問題 6 主体的取り組み 3
確認問題	10	
28	19	11

a	23~28	16~19	9~11
b	14~22	10~15	6~8
c	0~13	0~9	0~5

情報 I		第2編 コミュニケーションと情報デザイン											
大単元	単元	2-1 情報のデジタル表現		2-2 コミュニケーション手段の発展と活用		2-3 情報デザイン		2-4 プレゼンテーション					
知識・技能		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
思考・判断・表現		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
主体的に学習に取り組む態度		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
NO	生徒名	知	思	態	知	思	態	知	思	態	知	思	態
1101	北海道	a	b	a	a	b	a	a	b	a	a	b	a
1102	青森県	b	c	b	b	c	b	b	c	b	b	c	b
1103	岩手県	a	b	a	a	b	a	a	b	a	a	b	a
1104	宮城県	b	a	b	a	a	b	a	b	a	b	a	b
1105	秋田県	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a	a

情報デザインの評価(例2)

知識技能	思考判断表現	主体的に学ぶ姿勢
ワークシート	8	ワークシート 13 振り返りシート 8
デザイン技能	10	確認問題 6 主体的取り組み 3
確認問題	10	
28	19	11

第2編 コミュニケーションと情報デザイン														
知識技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度	第2編 単元総括			第2編 単元評価								
			100	100	100	評価	評価	評価						
確認提出	38.0	55.2	25.0	26.0	40.0	16.0	15.0	8	93.2	51.0	79.0	A	B	B
審査	25.0	40.8	25.0	20.8	20.0	18.0	15.0	5	65.8	45.8	58.0	B	C	B
振り返りシート・課題	35.0	50.4	30.0	33.8	40.0	16.0	17.5	8	85.4	63.8	81.5	A	B	A
ノート	30.0	45.6	28.0	33.8	46.0	16.0	20.0	7	75.6	61.8	89.0	B	B	A
GWプレゼン工夫	40.0	57.6	35.0	57.2	48.0	18.0	15.0	10	97.6	92.2	91.0	A	A	A

氏名	知識技能										思考判断表現									
	10	10	10	8	8	10	8	8	10	8	54	#	#	#	13	6	49			
北海道	10	10	8	8	10	8	8	10	8	54	#	#	#	13	6	40				
青森県	10	10	8	6	5	6	4	5	6	45	#	#	#	8	4	34				
岩手県	10	8	10	6	8	10	5	6	8	52	#	#	#	10	4	36				
宮城県	10	10	8	8	6	8	8	10	8	50	#	#	#	9	5	36				
秋田県	8	10	8	8	8	10	10	8	8	54	#	#	#	13	6	40				

単元ごとに、学習評価で示す配点に変換

情報デザインの評価(例2)

合成成績	7月16日 【振り返りシート】 (5点満点)	7月16日 【確認問題】 1-2... (10点満点)	7月16日 【確認問題】 1-2... (5点満点)	6月16日 【確認問題】 1-2... (5点満点)
	80%	3	8	4
83.64%	5			2
77.27%	5	6	4	2
81.82%	4	10	4	5
74.55%	3	8	4	2

令和4年度 前期期末考査

1年1組・1年2組

「情報 I」

単元ごとの出題

問題	分類
【1】～【3】	第1編 知識・技能
【4】～【6】	第1編 思考・判断・表現
【7】～【8】	第2編 知識・技能
【9】	第2編 思考・判断・表現

「記録を残す評価」や「考査」は、「単元別」・「観点別」

情報デザイン

今後に向けて

37

テンプレートから作成

Canva



技術的には、簡単で見栄えが良い作品ができる。

作品事例や、テンプレートから、デザインを学ぶことができないか？

なぜ見やすいのかなどに触れる必要がある。

38

ネットワーク図のやデータの流れを構造化

「情報通信ネットワークとデータの活用」の单元でも、情報デザインの構造化の実習ができないか？

- [Diagrams.net](https://www.diagrams.net/)
- [Microsoft Visio](https://www.microsoft.com/ja-jp/visio/)
- [Cisco Packet Tracer](https://www.cisco.com/c/en/us/products/ios-nx-os-software/ios-network-tracer/index.html)

39

実践発表資料



スライドデータ (hokkaido-c.ed.jp用)

40